

わ
か
つ
て
か
か
る
ま
た
た
民
社
党

あなたには
わからない

青年部

「民社党とは何か、ひとことでわかるようなものはないのか」

そんなものはありません。ふたことでもわかりません。もちろんこんな八ページの、しかもほとんど絵ばっかりのパンフを読んでわかるわけがありません。

「あなたはどんな人間か、ひとことで言うてください」と言われて答えられますか。「会社員です」「学生です」「三人娘の末っ子です」「独身です」「組合の支部長です」どうやってもひとことでは言えませんね。そんな人間が十万人余りも集まった民社党がひとことで語れるわけがありません。委員長にだって、書記長にだってできないのです。

★あなたの考えている民社党が民社党

政党は人の集まりで、きわめて実体のあいまいなものです。「これが〇〇党だ」というものはありません。裏返して言えば、あなたが考えている「民社党」が民社党です。「民社党は政策に強かですタイ」と考えればそれがあなたの民社党ですし「自民党より右だてヨ」^①と言えば、それもそうですし、「社会党と同じようなもんジャン」と言えば、それもそうでしょう。「ええこと言うとするんやさかい、なかなか伸びまへんな」、それもそのとおり。これからお話しするのも、あくまで一人の人間にとっての「民社党」です。あなたの民社党イメージと合うかどうかわかりませんが、ちょ

つとお付き合ってください。

★ファジー政党の時代だ！

ヒステリーの人の対人関係を「敵か、味方か、石ころか」と言います。ヒステリー的な性格が強くなると他人を自分の敵と味方とに分けないとがまんできなくなるのです。心の安定している人は他人を敵味方に決め付けたりはしません。世の中には百パーセント敵の人も百パーセント味方の人もいないからです。対人関係だけではありません。この世の中に「絶対」は存在しないのです（キリスト教などにおける神の存在は別として）。ものごとは全てはつきりしないのです。どっちつかずなのです。これを応用して、機械をより「人間らしく」したのが「ファジー機能」政党でやっているのが民社党です。

★正常な人間は悩む

たとえば、消費税を入れるかどうかのとき、私たちは悩みました。税金は安いに越したことはないけれど、将来の高齢化対策のために財源は必要だ。しかしこれ以上直接税を増やすのは難しい。新しい物品税をつくったりすればさらに税法系が複雑になる。それにしても消費税は自民党がろくに審議せず強行導入したものだし、あまりにも欠陥が多い。考えた結果がまず消費税の白紙撤回、税制改革のやりなおしでした。そして、それができ

なければせめて消費税の欠陥是正をしようとしてきたのです。結果的には、最初のままの消費税が続いています。続けたのは誰か。「消費税廃止」を叫んできた社会党なのです。このやり方には社会党内の心ある人たちも大きな不満を持っています。

正常な神経の持ち主は悩みます。そして、ベストが無理ならせめてベターでも、と考えます。世の中にはゼロか百かで割り切れることはほとんどないのです。百を得ようとしてかえってゼロになってしまうことも少なくありません。みんなで知恵と力を出しあっても、それでもましな社会にしていくのが民主主義の基本です。

★今に見ろ！ どうせ民社の言う通り

嘘でもはったりでもありません。民社党の主張した政策で実現されたものの中には自民党からも、社会党・共産党からも厳しく批判されたものが少なくないのです。主なものをいくつか並べてみましょう。

福祉国家論・日韓国交回復・沖縄本土並み返還・行政改革・専守防衛を基本とした安全保障政策……たとえば結党のときから主張してきた福祉国家論（全国民中産階級化政策）などは自民党からは「怠け者をつくる」と言われ社会党からは「資本主義の延命に手を貸すものだ」と言われました。でも今日福祉政策を語らない政党はありません。

「民・民・民」



とセムが鳴く

民社党がファジーだ。先端だ。

自民党にはもともと、世の中をこうしているというビジョンそのものはありません。社会党のビジョンは前にあげたそれぞれについて言えば社会主義革命・日韓国交回復反対・沖繩の即時無条件全面返還・行政改革反対・非武装中立……民社党とどちらが正しかったか、実現性があったか、一目瞭然です。社会党も少しずつ変わってはいますが、その内容は民社党の言ってきた方向を十年以上遅れてついでにきている、といったものです。

この国は民社党が「こうしよう」と言っているようになります。また、そうしなければ日本に未来はありません。

★何をすべきか、何ができるか

湾岸戦争の問題を通して、国会審議の多くがいかにも的外れたものか実感されたと思います。あの戦争はクウェートにイラクが侵略したことの問題の原点があるのです。放置していれば世界中に第二、第三のサダム・フセインが現れることは間違いありません。金持ちニッポンが標的となる可能性も決して少なくありません。しかも日本は中東に石油の七割を依存しています。何をすべきか、何ができるのか、おのずからあきらかでしょう。国連決議の下にクウェート解放のための軍事行動が行われて、多くの国が人的・物的支援を行っています。日本が難民の支援や医療の援助、そして経済援助位をするのは当然ではな

いでしょうか。しかも、それが危険な地域であるならば、危険な状態に対応できる訓練をしている自衛隊が行くのが常識です。

★「私は無能です」

自衛隊が一步国外に出ればとたんに軍国主義になるかの様に社会党は言っています。これは「私たちは無能な政治家で、民主主義を守る能力がありません」と宣言しているようなものです。中東で軍事行動をしているアメリカやイギリス・フランスは軍国主義でしょうか。違います。軍国主義になるかどうかはその国の政治家がしっかりした国際感覚と民主主義を守ろうという使命感をもっているかどうかにかかっているのです。

クウェートのように国土がじゅうりんされ、虐殺や拷問や略奪がおきたとき、自分や家族や友人が何をされても無抵抗にしているという覚悟のある人には「いかなる戦争にも反対する」と語る資格があるかもしれません。しかし、人の家の火事にはかかわりたくないが自分は安全で楽な暮らしをしたいというのはただのエゴイズムでしかありません。

★世の中にはタテマエも必要だ

世の中はホンネとタテマエの両方が必要です。ホンネだけでもいけないし、タテマエだけでもいけません。ホンネとタテマエというのはいろいろな場

合に存在します。国家がタテマエで国民がホンネ、会議がタテマエで宴会が本音、東京がタテマエで大阪がホンネ、「いやー、歌は苦手なもんで」というのがタテマエでマイクを握ったら放さないのがホンネ、とか。

誇りとか、自尊心というのはやはりタテマエのうちでしょう。日本人は第二次世界大戦に負けるまで、あまりにもタテマエを強調し過ぎてしまいました。その反動が戦後に来て、今度はホンネばかりが強調されるようになってしまいました。欲望を追い求め、権利を主張することが正しく、義務とか献身とか、自己犠牲は間違いのようになってしまいました。個人も、国も、地球全体も、タテマエとホンネのバランスが必要です。日本もそろそろそんなことを考え直すときがきたのではないのでしょうか。

★こうすれば日本はだいじょうぶ

みんなが知恵と力を合わせれば、日本はもともとと良くあります。長い歴史と美しい国土、そして高い教育水準と勤勉な国民性に支えられたこの国は昔から、常に新しいものを取り込んで、自分たちにあうように消化してきました。今必要なのもっといろいろな考え方、価値観を取り込んでいくことです。

民社党青年部では二十一世紀に向けて、新しい発想をしていこうと他党にさきがけて影の内閣「ゆーすきやびねっと二〇〇一」をス

貧乏之民社



足で勝負

タートさせました。ここでは今、二〇〇一年に日本はどんな国にするべきかについて議論をしています。たとえば政治も経済も文化も、そして仕事も遊びも勉強も何でも東京に集まっている現状を直すため、日本の今の四十七都道府県を十州にまとめて、アメリカの州のように強い自治権を持たせたり、年間総労働時間一七〇〇時間、年間ボランティア活動時間一〇〇時間を指すなど、いくつもの提言をしています。これが実現すれば日本は大丈夫。そう、大丈夫なのです。

★応援した議員はあなたの一部です

「選挙はいやだ」「組合が決めたからってなんで選挙運動をしなきゃならないんだ」と言う人がいます。とんでもない話です。

民主主義はみんなが参加して自分たちの代表を議会に送ることが基本です。応援した議員はどこかの「先生」ではなくあなた自身の一部なのです。もし、民社党が他党より本当に間違っていると思ったら、他の党の候補者を支持して、選挙運動をやってください。知らん顔はいけません。「選挙運動をしない」というのは民主主義に対する挑戦、ほとんど罪悪です。

★政治抜きには何もできない

あなたも、私も、世の中を良くするために、できることを一歩一歩やっていかねばなりません。

せん。もちろん一人でできることはかぎりがありますが、そんなときに力を発揮するのがサラリーマンの集団である労働組合です。民主主義を守ろうとする労働組合が民主的な政を推す。すばらしいことです。実際、どんなに組合が会社に要求したって減税も、国の安全を守ることも、高齢化社会の対策もできないのです。でも、議員を出していけばそれができます。これを利用しない手はないでしょう。

★あなたには参加する権利と義務がある

選挙運動は、候補者の就職運動のお手伝いではありません。あなた自身の民主主義への参加です。幸いに、日本では政治への参加が自由にできます。もちろん、あなた自身も年齢などの条件を満たせば候補者になることができます。ですから、直接議員として政治に参加することもふくめて、ぜひこの国をよくして、周りの人たちが少しでもいい暮らしをできるようにしていきましょう。そして、できれば世界中の人たちに何かしてあげられるような日本をつくっていききたいものです。そのために努力する民社党、あなたの心にそんな民社党のイメージがいくらかでも浮かんだら、こんなうれしいことはありません。

◎この本について……………

絵のページは拡大コピーしてポスターとしてお使いください。なお、ここに使われているキャッチフレーズ(コピー)は主にゆうす・ふおーらむ(青年部ブロック会議)で集められたものを利用しました。内容等に言いたいことがある人は民社党全国青年部(担当・荒木)まで、遠慮なく。

テイクオフニュース特別号
わかってたまるか!民社党
平成3年2月28日発行
民社党全国青年部
〒105東京都港区虎の門2-3-13
第18森ビル6F (03)3501-5112
パソコン通信
PC-VAN ZGB30799
定価 100円

もう「先生」とは呼ばせない

みんなやとう せいねんふ

民社党の議員はどこかのエライ人ではありません。
応援したあなたのカラダとアタマの一部です。

暗い
かたし
まぶめ

これでいいんだ!

民社党

MINSHATO YOUTH